

コメント

1. インフルエンザ

定点当り3.43人と急増し、流行が拡大しています。今シーズンこれまでに報告された患者の5歳間隔の年齢構成比は、5~9歳が50%、0~4歳が29%と、9歳以下が約8割を占めています(次ページ参照)。また、学級閉鎖などの措置がとられた「集団かぜ」が、12月4日現在ですでに6件報告されています。予防のためには予防接種を受けることが有効です。すでに流行期に入っていることから、早めに受けることをおすすめします。

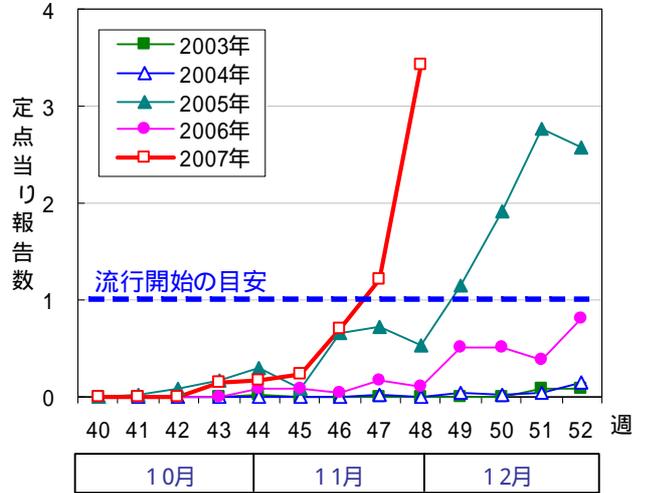
2. 感染性胃腸炎

定点当り14.8人とやや増加しています。安芸区41.0人、東区23.7人と特に多く、中区、安佐北区ともに18.7人、佐伯区12.7人となっています。

3. 水痘

定点当り2.67人と急増しています。安芸区では9.0人と特に多く、東区6.3人となっています。

インフルエンザ



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号
インフルエンザ(注2)	127	3.43	0.29	↑	麻疹(注3)	-	-	-	
咽頭結膜熱	29	1.21	0.22	↔	流行性耳下腺炎	4	0.17	1.03	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	1.54	1.82	↔	RSウイルス感染症	9	0.38	0.88	
感染性胃腸炎	355	14.79	13.67	↔	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	64	2.67	2.48	↑	流行性角結膜炎	3	0.38	0.83	
手足口病	2	0.08	0.21		細菌性髄膜炎	-	-	0.06	
伝染性紅斑	2	0.08	0.19		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
突発性発疹	12	0.50	0.76		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.26	
百日咳	2	0.08	0.03		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風疹	-	-	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	0.06						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1)過去5年間(RSウイルス感染症は3年間)の同時期平均(定点当り)
 (注2)鳥インフルエンザを除く
 (注3)成人麻疹を除く
 (注4)オウム病を除く

1類~5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	4	158	女性(20歳代)・1人、女性(50歳代)・1人、女性(70歳代)・2人
4	つつが虫病	2	9	女性(10歳代)・女性(70歳代)

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

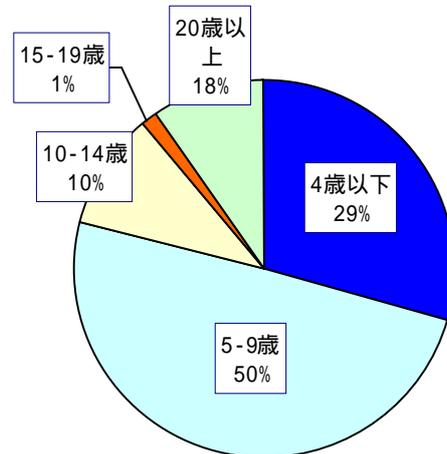
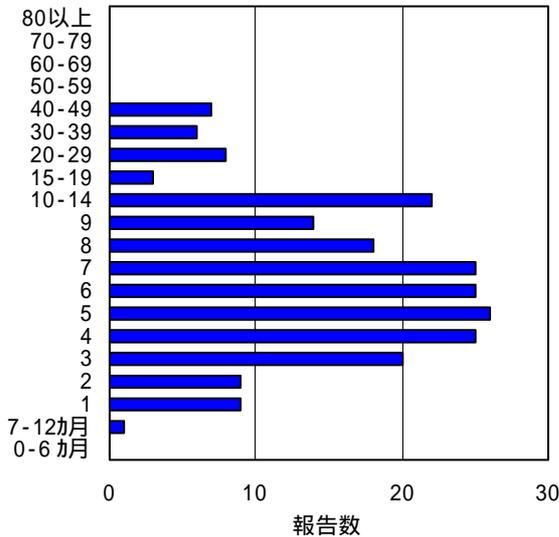
報告数	広島市	第44週 第45週 第46週 第47週 第48週	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん	
			定点当り	広島市	第44週 第45週 第46週 第47週 第48週	6 9 26 45 127	6 21 18 26 29	23 34 26 26 37	168 172 228 255 355	19 24 45 25 64	1 4 5 2 2	1 1 - 2 2	15 13 15 13 12	- - 1 - 2	- 1 - - -	5 2 3 - -	- - - - -	7 1 2 - 4	- - 2 1 9	- 1 1 - 3	2 2 7 1 -	- - 1 - -	- - 1 - -	- - 3 - 1
定点当り	全国	第46週 第47週	0.94 1.53	0.18 0.19	1.50 1.51	7.32 8.97	1.18 1.28	0.48 0.42	0.15 0.13	0.63 0.61	0.03 0.03	- -	0.12 0.09	0.01 0.01	0.30 0.28	- -	0.02 0.02	0.64 0.56	0.02 0.02	0.02 0.02	0.36 0.36	0.03 0.03	- -	0.01

(注1)鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	2	女	2007/10/10	糞便	ノロウイルスG2群
腸重積	2	男	2007/08/14	糞便	アデノウイルス31型
腸重積症	1	男	2007/10/16	糞便	アデノウイルス5型
不明熱	0	女	2007/10/02	髄液	コクサッキーウイルスB5型

【参考】広島市における今シーズンのインフルエンザの年齢階層別報告数



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧くださいませ。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2007年第48週 (11月26日～12月2日)